

愛知県教育委員会

朝日遺跡出土品保存修理及び保存箱製作委託業務

(令和元年度)

(株)東都文化財保存研究所

埼玉県川口市西青木3丁目3番地32号

電話048(256)6667

代表取締役 朝重嘉朗

| | | |
|------|------------------------------|----------------|
| 契約年度 | 令和元年度 | |
| 契約名称 | 朝日遺跡出土品保存修理及び保存箱製作業務 | |
| 所 属 | 愛知県教育委員会 | |
| 履行期間 | 令和元年 7月 3日 ~ 令和 2年 3月 15日 | |
| 遺跡名称 | 朝日遺跡 | |
| 契約点数 | 土器 骨角牙貝製品 保存箱製作(骨角収納用) | 5点 8点 1点 |
| 備考 | | |

令和元年度

朝日遺跡出土品保存修理及び保存箱製作委託業務記録

(愛知県教育委員会)

(株)東都文化財保存研究所

仕 様 書

1 名称

朝日遺跡出土品保存修理及び保存箱製作委託業務

2 修理対象資料の現状と修理内容

土器・土製品

- ・ 円窓付土器 1 (441)
接合部劣化。解体、再接合、復元。
- ・ 円窓付土器 3 (443)
接合部劣化。解体、再接合、復元。
- ・ 手焙形土器 3 (514)
接合部劣化。解体、再接合、復元。
- ・ 手焙形土器 4 (515)
接合部劣化。解体、再接合、復元。
- ・ 絵画土器 5 (520)
接合部劣化。解体、再接合、復元。

骨角牙貝製品

- ・ 鋸 14 (1867)
現状 2 片未接合。接合、復元。
- ・ 刺突具 17 (1899)
現状 2 片未接合。接合、復元。
- ・ 縫針 1 (1913)
現状 2 片未接合。接合、復元。
- ・ 縫針 2 (1914)
接合部の破損により、現状 2 片未接合。接合、復元。
- ・ 簪 16 (1939)
現状 2 片未接合。接合、復元。
- ・ 簪 17 (1940)
現状 2 片未接合。接合、復元。
- ・ ト骨 4 (2002)
現状 2 片未接合。接合、復元。
- ・ 骨角器未製品 1 (2006)
現状 2 片未接合。接合、復元。
- ・ 骨針一式 (通番 1913～1920)
1 点ごとにビニール袋またはケースに保管しているが、小さく脆弱であり破損の危険性が高い。専用の保存箱を制作することで、安定して保管するとともに保管状況の確認を容易にする。

3 修理委託仕様

【資料の輸送】

- (1) 修理前の出土品資料を愛知県から受託者の作業施設内へ美術品専用車両にて輸送

する。搬出時は、担当者、受託者が共に立ち会い、資料の相互点検。確認及び記録写真を撮影する。資料は国指定重要文化財であることを十分考慮し、慎重に取り扱い、厳重に梱包を行うこと。

(2) 修理完成后、受託者の作業施設内から愛知県の指定場所へ搬入し、搬出時と同様に取り扱う。

(3) 輸送の際の責任は受託者が負うものとする。

【修理について】

(1) 修理方法及び対応については、本仕様書に掲げるものの他、文化庁ならびに愛知県教育委員会の指導指示を受けるものとする。

(2) 資料搬出後、文化庁文化財部美術学芸課文化財調査官及び愛知県教育委員会担当者が作業施設に赴き、修理担当者と修理についての打ち合わせを行う。

(3) 修理途中及び完了後、同様に作業施設内で点検・確認。手直し等の打ち合わせを行う。

【修理時の資料保管】

資料は国指定重要文化財であることから、防火・防犯面で安全な保管庫と作業施設の下、温湿度管理も万全を期すること。

【修理場所】

資料は国指定重要文化財であることから、全工程を受託者の作業施設内で実施すること。X線撮影等が必要となった場合にも移動中の破損を防止するために、自社内保有の設備で行うこととする。

【作業工程】

土器・土製品

(1) 保存修理前の調査・記録 修理前の現状を写真撮影し、あわせて資料の特徴や大きさ等を記録する。

(2) 解体 接着剤や石膏で接合、復元されている部分を、有機溶剤等を用いて解体する。破片の接着剤などの汚れは、有機溶剤等を用いて十分にきれいにする。

(3) 接合・復元 委託先の復元図に従って接合し、欠損部分を合成樹脂で復元する。接合には主にセルロース樹脂(セメダインC)、復元にはエポキシ樹脂(バイサム等)を使用する。

(4) 彩色 接合、復元部分は顔料(岩絵具)、アクリル樹脂エマルジョン等を用いて古色付けを行う。

(5) 保存修理後の調査・記録 修理後の状態の写真撮影と修理記録の作成、および、修理報告書を作成する。

骨角牙貝製品

(1) 処理前調査 修理前の現状を写真撮影し、あわせて資料の特徴や大きさ等を記録する。また、以前の修理状態や現在の劣化状況等を把握するため、必要に応じてX線写真撮影を行う。

(2) クリーニング 資料の表面を刷毛や筆を用いて埃など汚れを慎重に除去する。

(3) 樹脂含浸 樹脂含浸は遺物をアクリル樹脂中に浸漬する。もしくは塗布により行う。

(4) 表面処理 含浸樹脂に適した有機溶剤で遺物の表面をふきとり、樹脂の光沢をおさえる。樹脂含浸は遺物をアクリル樹脂中に浸漬する。もしくは塗布により行う。

- (5) 接合 委託先の復元図に従って各部を接合する。
- (6) 復元 必要があれば欠損部分を合成樹脂で復元する。接合及び復元部分は、顔料、アクリル製樹脂絵具を用いて補彩を行う。
- (7) 保存修理後の調査・記録 修理後の状態の写真撮影と修理記録の作成、および、修理報告書を作成する。

【保存箱の作成】

- (1) 資料の安定化のために資料の形状に合わせた専用の保存箱を作成する。
- (2) 保存箱の外容器は桐箱とする。
- (3) 保存箱は、外容器と資料の支持部を分離可能な構造とする。
- (4) 保存箱作成前に、図面等を作成し、教育委員会担当者と協議を行うこと。
- (5) 保存箱の作成方法及び対応については、本仕様に掲げるものの他、文化庁ならびに愛知県教育委員会の指導指示を受けるものとする。

朝日遺跡出土品保存処理リスト

| | 品名 | 通番 | 解体 | クリーニング | 樹脂含浸(破断面) | 樹脂含浸(表面強化) | 接合 | 樹脂充填 | 復元 | 彩色 |
|----|---------|------|----|--------|-----------|------------|----|------|----|----|
| 1 | 円窓付き土器 | 441 | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 円窓付き土器 | 443 | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 手焙形土器 | 514 | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4 | 手焙形土器 | 515 | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5 | 絵画土器 | 520 | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6 | 銚14 | 1867 | — | — | ○ | — | ○ | ○ | — | ○ |
| 7 | 刺突具17 | 1899 | — | — | — | — | ○ | ○ | — | — |
| 8 | 縫針1 | 1913 | — | — | — | — | ○ | — | — | — |
| 9 | 縫針2 | 1914 | — | — | — | — | ○ | — | — | — |
| 10 | 簪16 | 1939 | — | — | — | — | ○ | ○ | — | ○ |
| 11 | 簪17 | 1940 | — | — | — | — | ○ | ○ | — | ○ |
| 12 | 卜骨4 | 2002 | — | — | ○ | — | ○ | ○ | — | ○ |
| 13 | 骨角器未製品1 | 2006 | — | — | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ |

朝日遺跡出土品保存処理リスト(骨角器)

| | 品名 | 通番 | 解体 | クリーニング | 樹脂含浸(破断面) | 樹脂含浸(表面強化) | 接合 | 樹脂充填 | 復元 | 彩色 |
|---|---------|------|----|--------|-----------|------------|----|------|----|----|
| 1 | 銚14 | 1867 | — | — | ○ | — | ○ | ○ | — | ○ |
| 2 | 刺突具17 | 1899 | — | — | — | — | ○ | ○ | — | — |
| 3 | 縫針1 | 1913 | — | — | — | — | ○ | — | — | — |
| 4 | 縫針2 | 1914 | — | — | — | — | ○ | — | — | — |
| 5 | 簪16 | 1939 | — | — | — | — | ○ | ○ | — | ○ |
| 6 | 簪17 | 1940 | — | — | — | — | ○ | ○ | — | ○ |
| 7 | 卜骨4 | 2002 | — | — | ○ | — | ○ | ○ | — | ○ |
| 8 | 骨角器未製品1 | 2006 | — | — | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ |

| 使用材料リスト | | | |
|-----------------|---------------|-----------------------------|---------------------------|
| 使用材料 | 使用目的 | 品名 | 製造会社名称 |
| 有機溶剤 | 遺物の汚れ、油脂成分の除去 | CPアセトン | 大伸化学株式会社 |
| アクリル系樹脂 | 表面強化 | パラロイドB-72 (5%) | 三恒商事株式会社 |
| アクリル系樹脂 | 破断面強化 | パラロイドB-72 (7%) | 三恒商事株式会社 |
| アクリル系樹脂 | 接合 | パラロイドB-72 (30%) | 三恒商事株式会社 |
| エポキシ樹脂 (主剤・硬化剤) | ヒビ及び欠損部の充填、復元 | バイサム | (有) 新成田総合社 |
| アクリル樹脂エマルジョン | 彩色 | TURNER ACRYLA GOUACHE | TURNER COLOUR WORKS, LTD. |
| アクリル絵具 | | HOLBEIN ACRYLA MATTE MEDIUM | HOLBIN WORKS, LTD. |
| つや消しメディウム | | HOLBEIN ACRYLA MATTE MEDIUM | HOLBIN WORKS, LTD. |
| 岩絵具 | | 新彩岩絵具 天然岩絵具 | 上羽絵惣株式会社 ナカガワ胡粉絵具株式会社 |
| BOXEL | 骨角器の収納 | No. 467 | ジャパン・プラス株式会社 |

令和元年度

朝日遺跡出土品保存修理及び保存箱製作委託業務

写 真 資 料

土 器

(株)東都文化財保存研究所

円窓付土器

No. 441

【 处 理 前 】







【 解 体 】



【 樹脂充填 】







【 完 成 】







円窓付土器

No. 443

【 处 理 前 】







【 解体 】



【 樹脂充填 】







【 完 成 】







手 焙 形 土 器

N o . 5 1 4

【 处 理 前 】







【 解体 】



【 樹脂充填 】







【 完 成 】







手 焙 形 土 器

N o . 5 1 5

【 处 理 前 】







【 解体 】



【 樹脂充填 】







【 完 成 】







繪 画 土 器

No. 520

【 处 理 前 】







【 解体 】



【 別途破片 】



【 樹脂充填 】







【 完 成 】







令和元年度

朝日遺跡出土品保存修理及び保存箱製作委託業務

写 真 資 料

骨 角 器

(株)東都文化財保存研究所

【 处 理 前 】

1867 (銛 14)



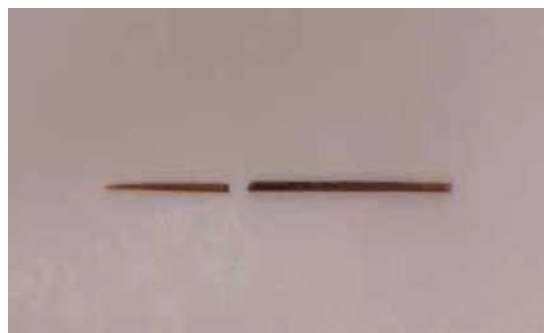
1899 (刺突具 17)



1913 (縫針 1)



1914 (縫針 2)



1939 (簪 16)



1940 (簪 17)



2002 (卜骨 4)



2006 (骨角器未製品 1)



【 樹脂充填 】

1867 (銛 14)



1899 (刺突具 17)



1939 (簪 16)



1940 (簪 17)



2002 (卜骨 4)



2006 (骨角器未製品 1)



【 完 成 】

1867 (銚 14)



1899 (刺突具 17)



1913 (縫針 1) 接合のみ



1914 (縫針 2) 接合のみ



1939 (簪 16)



1940 (簪 17)



2002 (卜骨 4)



2006 (骨角器未製品 1)



令和元年度

朝日遺跡出土品保存修理及び保存箱製作委託業務

写 真 資 料

保 存 箱

(株)東都文化財保存研究所



